

田沼武能 追悼写真展  
「日本の子ども世界の子ども」  
—母校・東京工芸大学で開催—

東京工芸大学（学長：吉野弘章、所在地：東京都中野区 以下、本学）は、本学の卒業生で名誉教授であった写真家の故・田沼武能氏（以下、氏）の追悼写真展「日本の子ども世界の子ども」（以下、本追悼展）を、2022年11月4日（金）から12月10日（土）まで、本学中野キャンパス6号館ギャラリー6B01で開催します。

本学（当時・東京写真工業専門学校）の卒業生で名誉教授であった写真家の田沼武能氏が、2022年6月1日に逝去されました。本学は、氏のこれまでの実績に敬意を表し本追悼展を企画しました。

本追悼展では、氏のライフワークの一つであった子どもの写真を、本学中野キャンパス6号館にある約160平方メートルのギャラリーで展示します。終戦後の東京から始まり、1960年代より世界120カ国を超える国々で撮影された子どもたちの写真の中から、選りすぐりの代表作80点を展示し、田沼氏の70年を超える写真家としての軌跡をたどります。

氏は、1949（昭和24）年に本学の前身である東京写真工業専門学校を卒業されました。1995年から本学で教授として教鞭を執られ、2004年には名誉教授に就任。その後も学校法人東京工芸大学の理事、評議員を歴任され、本学の発展に多大な貢献を果たされました。

長きにわたって写真家として第一線で活躍するだけでなく、日本写真家協会会長や、全日本写真連盟会長、日本写真著作権協会会長など、写真界の要職を歴任し、その多大なる功績が認められ、数々の荣誉ある賞が授与されたほか、2019年には写真家として初めてとなる文化勲章を受章するなど、まさに日本の写真界を代表する存在でした。

作品の鑑賞を通して故・田沼武能氏を偲ぶ追悼展の概要は以下のとおりです。

- 田沼武能 追悼写真展 「日本の子ども世界の子ども」
  - ・会 期：2022年11月4日（金）から12月10日（土）まで  
日曜・祝日休館
  - ・時 間：10:00-19:00 予約不要
  - ・料 金：無料
  - ・会 場：東京工芸大学中野キャンパス6号館 ギャラリー6B01  
東京都中野区弥生町1-10 地下1階
  - ・主 催：東京工芸大学
  - ・協 力：株式会社クレヴィス／東京工芸大学同窓会
  - ・企 画：写大ギャラリー運営委員会
  - ・URL：[https://www.t-kougei.ac.jp/activity/archives/2022/article\\_85297.html](https://www.t-kougei.ac.jp/activity/archives/2022/article_85297.html)
  - ・本追悼展に関するお問合せ：東京工芸大学 東京都中野区本町2-9-5  
：03-3372-1321



#### ■田沼武能

- 1929年 東京・浅草の写真館に生まれる  
1949年 東京写真工業専門学校(現・東京工芸大学)を卒業  
同 年 サン・ニュース・フォトスに入社。  
同時に木村伊兵衛の助手となり写真家としての人生をスタート  
1950年 新潮社『藝術新潮』の嘱託写真家として文化人の肖像写真を連載  
1965年 アメリカのタイム・ライフ社と契約し、世界的に活躍  
同 年 「世界の子どもたち」の撮影を始める  
1984年 黒柳徹子のユニセフ親善大使就任後の親善訪問に同行をはじめ  
1985年 菊池寛賞を受賞  
1990年 紫綬褒章を受章  
1995年 東京工芸大学芸術学部写真学科教授に就任  
同 年 (社)日本写真家協会会長に就任  
2003年 文化功労者に顕彰される  
2004年 東京工芸大学名誉教授に就任  
2019年 文化勲章を受章  
2020年 朝日賞特別賞を受賞



#### ■関連記事

- 2020.5.22田沼武能先生が文化勲章を受章  
(<https://www.t-kougei.ac.jp/manabi/arts/photography/50914.html>)  
2022.10.5工芸ヒストリー16話「卒業生の肖像03 田沼武能(特別編)」  
(<https://100th.t-kougei.ac.jp/kougeihistory/16/>)